

バイオエレクトリクス 2011

シンポジウム

「バイオエレクトリクス」は、パルス電磁エネルギーで形成される極限反応場（パルス電界、パルス電磁界、衝撃圧力、大気圧・水中プラズマ、パルス光など）が及ぼす生体作用およびその応用に関する研究を指し、バイオ技術、医療、農業、食品加工など、生物に関わるほとんど全ての分野への応用が期待されます。本シンポジウムでは、バイオエレクトリクスに関する基礎から最先端研究と今後の展望を、各分野で活躍中の研究者にわかりやすくお話しいただきます。皆様のご出席を心からお待ち申し上げております。

日時 平成23年3月10日(木) 9:40～

場所 熊本大学工学部 黒髪総合研究棟 204号室

(http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/campusjouhou/shuyou_shisetsu/map_kurokami_2.html)

参加費 無料

言語 日本語（一部英語）

主催 熊本大学グローバルCOEプログラム「衝撃エネルギー工学グローバル先導拠点」
熊本大学バイオエレクトリクス研究センター

共催 電気学会パルス電磁エネルギー技術委員会
電気学会「パルス電磁エネルギー生体作用と高度応用」調査専門委員会

プログラム

- 9:40 開会、趣旨説明 勝木 淳(熊本大学)
- 9:50 「バイオエレクトリクスのためのパルスパワー電源」 佐久川貴志 准教授(熊本大学)
- 10:30 「化学物質評価への応用を目指したパルスパワーによるメダカ受精卵への化学物質の新規導入法」
富永伸明 教授(有明高専)
- 11:10 「パルスパワー印加によるグラジオラス球根の発芽促進」 猪原 哲 准教授(佐賀大学)
- (休憩)
- 13:00 「大気圧プラズマ流の化学種輸送機構と医療応用」 佐藤岳彦 准教授(東北大学)
- 13:50 “Underwater shock waves and their medical applications” (英語講演)
「(和訳) 水中衝撃波とその医療応用」 S. Hamid R. Hosseini教授(熊本大学)
- 14:30 「ナノ秒パルス高電界によるヒトがん細胞へのアポトーシス誘導機構」
安部恵祐 研究員(熊本大学)
- 15:10 討論とまとめ 勝木 淳 教授(熊本大学)
- 15:30 散会 (バイオエレクトリクス研究センター見学)

参加お申込・お問合せ：

熊本大学バイオエレクトリクス研究センター 勝木 淳

Tel : 096-342-3616

E-mail : katsuki@cs.kumamoto-u.ac.jp